

壁新聞にご利用ください。



新年のご挨拶

公益社団法人横浜港防犯協会
会長 藤木 幸太



明けましておめでとうございます。会員並びに関係各位の皆様におかれましては、ご家族と共に健やかに暮らしていただき、心よりお慶び申し上げます。皆様には平素より横浜港防犯協会の活動につきましても、深い御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が流行する中、新たな変異株が猛威を奮い、累計感染者数が五百万人を超え過去最多を更新しました。海外に於いてはロシアのウクライナ侵攻により多くの命が奪われております。これに伴い、原油を初めとする物価高騰となり私達の生活に影響を及ぼしました。

この状況下、北京オリンピック・パラリンピックが開催され、日本選手団の健闘により歴代最多のメダルを獲得するという結果を出し、国民に勇気と感動を与えてくれた事は記憶に新しいところです。

さて、日本の治安情勢に目を向けると、新型コロナウイルス感染症等に便乗した特殊詐欺が多発するなど、深刻な情勢が続いております。中でも昨年は役所や税務署を名乗る高齢者を狙った還付金詐欺が多く発生しました。当会におきましては犯罪を未然に防ぐべく、横浜水上警察署、横浜港防犯指導員連絡会、横浜水上少年補導員連絡会、横浜水上地域防犯連絡所連絡協議会とタイアップして地域の防犯キャンペーン等を実施し、啓蒙活動を行って参りました。

発行

公益社団法人
横浜港防犯協会
横浜市中区海岸通1-1
電話 (201) 2982 番
印刷所 (有)ハマ印刷
TEL(260)0266

すい街づくりに向けて横浜水上警察のご指導を頂き、自治体をはじめとした関係機関と地域住民の協力も得つつ、各種犯罪を防止する活動をしていかなければなりません。

我々の活動地区である臨海エリアは、横浜港開港以来、横浜の発展の原動力となってきた港です。昨今の情勢を踏まえ、新型コロナウイルスと共存する社会を想定した住みよい街と明るい港であるよう会員一同で取り組んで行かなければなりません。

気象の変化に伴う温暖化の影響から、昨年も全国各地に於いて大規模な自然災害が多く発生いたしました。中でも線状降水帯の発生によるゲリラ豪雨が目立ちました。この問題についても日頃からの積極的な広報活動を実施するとともに、災害発生時には市町村が行う避難行動を支援し被害の軽減に繋がるよう、各人の自助努力と意識改革を促す活動を啓蒙して参ります。

今年も新型コロナウイルス感染症の一刻も早い収束を願いますとともに、会員との相互連絡を密に保ちながら防犯意識の高揚を図り、明るく住みやすい港・街づくりを推進していきたく存じます。どうか皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年のご挨拶

横浜水上警察署長
菅 健司



新年あけましておめでとうございます

公益社団法人横浜港防犯協会の皆様方には平素から各種防犯活動はもとより、警察行政全般にわたり深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、一昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、皆様と共に交通安全運動に伴う海上パレードや安全・安心まちづくり旬間に伴うキャンペーン・パトロール等の各種警察活動を展開いたしました。

その結果、当署管内における刑法犯認知件数は、昨年十一月末現在で四六件で、一昨年の同じ時期と比べると二件増加しているものの、重大な事件事故の発生もなく、特に社会問題となっている特殊詐欺や交通死亡事故の発生もありませんでした。交通事故の発生も減少傾向にあり、渡り抑止しているものであります。

また、「第70回よこはまパレード」、「ワールドトライアスロンチャレンジオンシップシリーズ横浜2022」、「第41回横浜開港祭」、「みなとみらいスタジアムフェスティバル2022」、「横浜マラソン2022」を始めとした各種イベントや大会等の警備交通対策では、関係機関・団体と連携して任務を完遂し、横浜港の安全・安心を発信することができました。

これも皆様方のご協力があったからこそ、感謝申し上げます。本年は、横浜港への外国船受け入れ再開が予定されているなど、魅力ある港として、益々賑わうことが予想されます。横浜水上警察署としましては、港を訪れる人々、働く方々やその家族の方々に安全な港の実現のため、署員一丸となって警察活動を力強く展開してまいります。引き続きの皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。結びとさせていただきますが、公益社団法人横浜港防犯協会並びに会員の皆様方の益々のご発展とご健勝を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜税関監視部長
岡澤 俊長



新年明けましておめでとうございます

公益社団法人横浜港防犯協会会員の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

藤木会長はじめ会員の皆様方には、平素から横浜港における税関の監視取締りや輸出入貨物検査にご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

税関では「安全・安心な社会の実現」を使命の一つとして、不正薬物や銃砲等の社会悪物品、テロ関連物資、知的財産侵害物品等の密輸を阻止するため、水際取締りに取り組んでおります。

不正薬物の密輸は依然として後を絶たず、全国の税関における押収量が令和三年まで六年連続でトーンを超えるなど深刻な状況が続いております。中でも横浜税関の実績が二年連続で全国一位となっております。

また、今年是我が国でG7サミットが開催され、横浜税関管内でも仙台市、日光市、水戸市の三カ所で開催関係の開催が予定されています。このような大規模な国際行事等はテロの標的となりやすく、これ等の機会を狙ったテロは安全・安心な社会にとつての脅威となります。テロの未然防止のため、関係取締機関との連携を密にして取り組んでいく必要があります。

新年のご挨拶

横浜港港務局長
中野 裕也



令和五年の年頭にあたり、謹んで、新年のご挨拶申し上げます。

横浜港防犯協会の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より横浜港の振興、発展にご協力を賜りますとともに、防犯キャンペーン、毎月の「防犯の日」を中心とした巡回広報など、横浜港及びその周辺地域の犯罪のない「明るい港」づくりにご尽力いただいております。

横浜港は開港以来、我が国の産業と暮らしを支える国際貿易港として発展してきた実績と経験を活かし、本年も「国際競争力のある港」、「観光と賑わいの港」、「安全・安心で環境にやさしい港」の三つを柱に、横浜港の更なる発展に尽力してまいります。

「国際競争力のある港」として、新本牧埠頭MCI1-4のコンテナターミナルの一体運用、本牧埠頭再編強化等、コンテナ取扱機能の強化に取り組まれます。また、大黒埠頭では、自動車専用船の大型化や着岸隻数の増加に対応するため、岸壁等の改良、コンテナターミナルから自動車ターミナルへの転換等を進めています。令和四年四月から日本最大級の十一隻の大型自動車船が同時に着岸可能な自動車取扱埠頭として供用開始しており、引き続きEV車の輸入拠点としても対応できるように、荷さばき地の拡張等を進めていきます。

ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、公益社団法人横浜港防犯協会並びに会員の皆様方の益々のご発展とご健勝を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜水上交通安全協会
会長 藤木 幸吉



新年明けましておめでとうございます

横浜港防犯協会の皆様方には、ご家族共々希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

平素より、横浜港における防犯活動や地域の安心・安全な街づくりのため、積極的な活動を展開していただき厚く御礼申し上げます。また、藤木幸太会長におかれましては、昨年九月に栄えある「防犯栄誉金章」を受章され、心よりお喜びを申し上げます。

昨年も国内外で、社会を揺るがす出来事が多くありました。「オミクロン株」の急速な拡大、二月のロシアによるウクライナ侵襲で戦争が始まり、世界経済に大きな影響を及ぼしました。世界各地では異常気象も発生し、国内では電力需給が逼迫しました。そして、知床沖観光船沈没事故で

地区の歩行者の回遊性向上のための歩行者デッキ整備や水上交通の充実、更なる街の賑わい創出のための臨港パークの再整備に取り組んでいきます。

「安全・安心で環境にやさしい港」として、二〇五〇年の脱炭素社会の実現を目指し、国や周辺自治体、民間企業と連携しながらカーボンニュートラルポート(CNP)の形成に向けて、水素等の輸入拠点化や供給インフラの整備、水素等サプライチェーンの構築、船舶への陸上電力供給等の検討を進めます。

横浜港は、市民の社会生活を支えるうえで欠かすことのできない社会インフラとして重要な役割を果たしています。市民生活を豊かにする総合港湾づくりには、皆様の日頃の取り組みが不可欠です。引き続き本港湾行政へのご支援とご協力をお願い申し上げます。

新年のご挨拶

横浜市中区長
小林 英二



新年明けましておめでとうございます

横浜港防犯協会の皆様には、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

藤木会長をはじめ、会員の皆様方には、日頃から市政・区政の推進に多大な御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。皆様方の活動地区である臨海部は、横浜港開港以来「日本の海の玄

は、多くの犠牲者が出てしまいました。そんな中、スポーツ界では、中国・北京で開かれた冬季オリンピックでの日本選手の活躍、大リーグや国内のプロ野球選手の活躍、サッカーワールドカップカタール大会での日本代表のドバイ戦、スペイン戦での歴史的勝利等明るい話題を提供してくれました。

さて、私共水上交通安全協会は、令和四年度の年間スローガン「安全は心と時間のゆとりから」に従い、二輪車や高齢者が関係する事故の防止、自転車のルール違反やマナーの向上の問題に取り組んで参りました。自転車走行時には、一時不停止・安全不確認、進路変更、無灯火に注意が必要です。年間の国内交通事故死者数や事故件数は減少に向かっているものの、交通事故死者数の約七割が高齢者となっており、この対策が急務となっております。

今後も高齢化が進展するため、発生リスクが増加するものと思われまます。横浜水上交通安全協会といたしましては、交通安全運動を主として、横浜港防犯協会をはじめ、県・市・中区・警察等関係機関のご指導、ご協力をいただきながら、安心・安全な街づくりに向けて街頭キャンペーンや広報車パトロールを積極的に進めて参る所存でございます。一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

